

岡田朝太郎 (あかた ともたろう) 刑法學者、法學博士。慶應四年五月十八日美濃

國生れ、昭和十一年十一月十二日歿(八六八一九三)。號(一)子子、(二)

面子、中村虛心、丸天子、小篁、岡田二面子、田上四山、女兒郷と公郎、

罵狂、虛心、虛心亭主人等。明治二十一年帝國大學法科入學卒。歐洲

留學後東京帝大教授。對口シヤ強硬論七博士の一人。一方、正岡子規

在世中句作と、その後後川柳の轉じ、また古川柳研究にふる當る。

著書「狂句集(其一)」(二面子名、明治二十八年一月八日 有斐閣雜)、

書店「告青年諸君」(合著、明治四十二年四月十日大盛堂書店)、

「俳風柳樽全集」就て(二面子名、大正十四年九月二十日政律・柳

書刊行會)、柳亭種彦著「宋卯柳句抄」(岡田二面子名、編、大正十

五年十月二十一日東京市立比谷圖書館)、又「藝講座・第一卷」(同、

合著、日本放送協會關東支部編、昭和二年四月十二日 日本ラヂオ協會

「ラヂオ講座」)、又「日常の法律」(昭和二年十一月二十日誠文堂

「大日本百科全集」)、又「下谷上野」(岡田二面子名、合著、久保田

金徳編、昭和四年四月一日松坂屋)等。